



コバトン&さいたまっち



病害虫防除情報

令和8年7月 9日

埼玉県病害虫防除所

1 情報名 チャのチャハマキについて

2 情報内容

(1) 病害虫防除所が実施しているフェロモントラップ調査において、チャハマキ第1世代成虫の誘殺数が平年の約2.7倍と非常に多くなっており、特に6月第5半旬から急増しています(図)。

(2) 今後第2世代幼虫の発生量、発生面積の増加が予想され、茶樹への影響が懸念されます。

(3) フェロモントラップ調査の5日間移動平均による第1世代発蛾最盛日は、6月28日でした。現在、若齢幼虫が発生しており、防除適期となっています。発生が多い茶園ではなるべく早めに二番茶を摘採しましょう。

表の防除薬剤例を参考に、まだ摘採していない周辺の茶園に配慮し、防除を行いましょう。

(4) 摘採、整枝等により密度低下を図ることも有効です。二番茶摘採後の防除と併せて早めに実施しましょう。

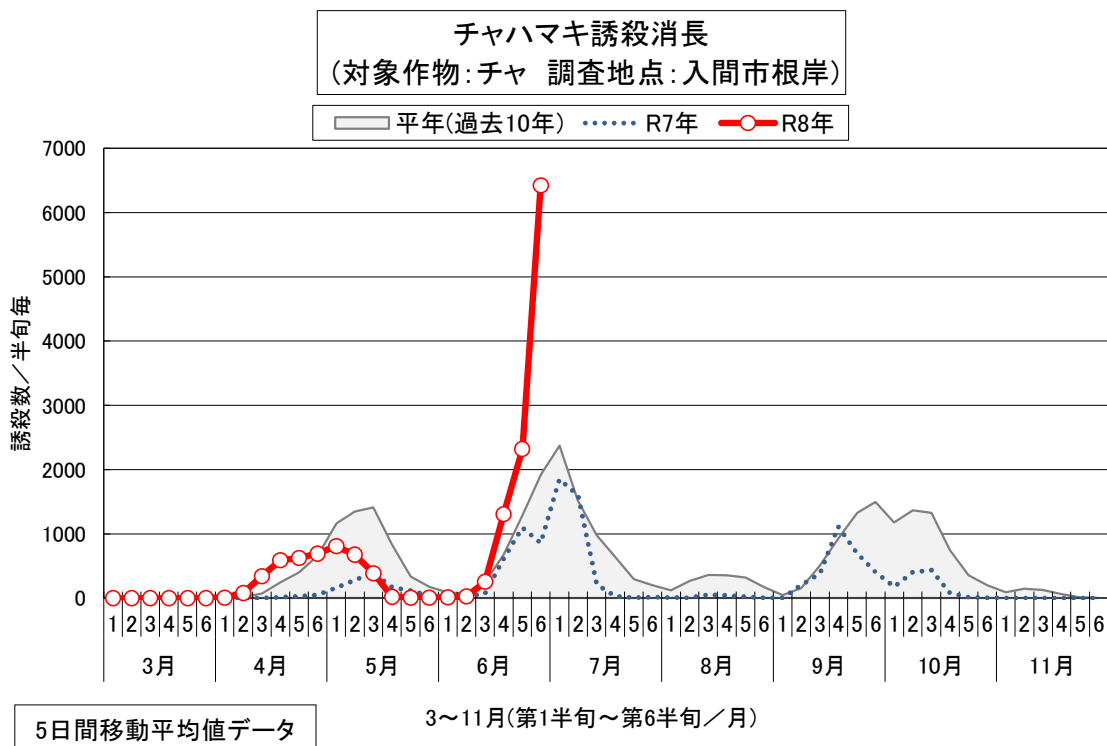


図 フェロモントラップによる成虫の誘殺調査データ

表 チャハマキの防除薬剤例

薬剤名	IRAC コード※	使用時期	使用 回数
ディアナSC	5	摘採前日まで	1
テッパン液剤	28	摘採3日前まで	1
カスケード乳剤	15	摘採7日前まで	2
ヨーバルフロアブル	28	摘採7日前まで	1
スピノエースフロアブル	5	摘採7日前まで	2
エスマルクDF	11A	発生初期(但し、摘採7日前まで)	—
テルスター水和剤	3A	摘採14日前まで	2

(使用基準は令和8年7月3日現在)

※ IRACコード及びFRACコードについて

病害虫の薬剤抵抗性発現防止の観点から、IRAC(世界農薬工業連盟殺虫剤抵抗性対策委員会)及びFRAC(同連盟殺菌剤耐性菌対策委員会)の農薬有効成分作用機構分類コードを記載しています。

農薬工業会ホームページ <http://www.jcpa.or.jp/labo/mechanism.html>

<農薬使用上の注意事項>

- 1 農薬は、ラベルの記載内容を必ず守って使用する。
- 2 剤の使用回数、成分毎の総使用回数、使用量及び希釈倍数は使用の都度、確認する。
特に、蚕や魚に対して影響の強い農薬など、使用上注意を要する薬剤を用いる場合は、周辺への危被害防止対策に万全を期すること。
- 3 農薬を散布するときは、農薬が周辺に飛散しないよう注意する。
- 4 周辺の住民に配慮し、農薬使用の前に周知徹底する。
- 5 農薬の最新情報は、農薬登録情報提供システム(農林水産省)で確認できる。
農薬登録情報提供システム(農林水産省) <https://pesticide.maff.go.jp/>

※ 埼玉県農薬危害防止運動期間(令和8年5月1日~8月31日)

問い合わせ先 埼玉県病害虫防除所 TEL:048-539-0661